

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センター知多市立やまもも園				公表日	令和 8 年 3 月 16 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	28	0	活動により2部制に分かれるなどしている。担当間で使用できる部屋の相談を行う。前日に各々の活動の確認。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	21	7	人数を分けて活動を行うなど、十分遊びを楽しめるようにする。	活動によっては配置職員が多く必要。個別配慮が必要な場面で、配置数では足りないと感じる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	23	5	パーテーションなどの活用。	バリアフリー化をできるところ、必要なところから取り掛かっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	25	3	トイレに扇風機、暖房器具など置く。	エアコンの不良などの設備の老朽化。トイレが夏場暑く冬寒い。トイレトレーニングに支障がある。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	28	0	カムダウンルームや空き部屋の活用。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	28	0	療育後に職員が集まる時間を利用。	短時間勤務の職員、預かり、早延長保育担当など職員の参画時間の確保。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	28	0	職員間の話し合いで反省が活かされている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	28	0	毎週職員会議を開き、意見を聞く場を持つ。	意見を言う機会はあるがすぐに業務改善につながっているかは分からない。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	28		令和8年度より外部評価を行う予定。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	26	2	できるだけ外部研修などに参加できるように職員を派遣できる体制を組む。	研修の時間帯によっては参加が出ない。自主研修の情報を自分でも探せるとよい。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	27	1	知多市のHPに掲載。	様式の変更などで作成が遅くなることがある。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	28	0			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	28	0	短時間勤務の職員との情報伝達や支援の検討の時間の工夫をする。	他のクラスの児の指導計画に目を向けたり、他の職員との話し合いなど多角的に作成できるようにする。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	27	1		短時間勤務の職員との共有の時間の確保が難しい。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	25	3		アセスメントの仕方やツールについては今後とも検討をしていく。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	28	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	28	0	クラスや学年、全体で話し合う場を設ける。	皆が参加できる時間、場の捻出が難しい。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	28	0	月間活動予定など他クラスの活動も見える化し意識できるようにする。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	28	0	個々に合わせて活動に参加できるようにする。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	27	1		短時間勤務の職員は支援開始前の当日の打ち合わせになり、勤務開始時には児が登園しているので、児がいる状態でやっている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	27	1	短時間勤務の職員も担当制になり、担任と振り返りや支援の仕方を話せるようになった。	早延長や週休などの職員がいる中でその日に必ず行うことが難しい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	28	0	個人の記録を取ることで振り返りが出来るようにする。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	28	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	27	1		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	28	0	関係機関と随時連携をとっている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	27	1	移行先の見学や職員同士で話し合う機会を設けている。 担当者会議で情報共有を行う。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	27	1	学校教育課を通して見学や体験の同行を行う。 卒園児の担任が事後フォローに訪問する。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	28	0		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	28	0		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	26	2	こども家庭センターと連携し部会員として参加している。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	27	1	年長、年中クラスは地域の保育園と交流を行っている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	28	0	言語相談で個別に保護者の相談に乗っている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	28	0	ペアトレの講習を受け始めた。ペアトレの導入への取り組みは継続していく。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	28	0			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	28	0			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	28	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	28	0	心理士による個別相談を行っている。 懇談の時間を設けている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	27	1	パパママサロン等保護者の交流の場を設けている。	兄弟同士の交流の場はコロナ禍以降持っていない。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	26	2		相談や申し出に対し、対応が不十分であったため、保護者への報告、職員への周知を行う。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	28	0	コドモンを利用して活動の様子を配信。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	28	0		机上のパソコンや書類など、定期的に意識付けが必要。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	28	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	26	2	岡田まちづくりセンターの秋まつりに参加して児の作品を展示、周知に努めている。 地域の小学校との交流に参加する。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	28	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	28	0	園内研修の機会にBCPIに対する意識付け。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	28	0	契約時に聞き取りをし職員に周知する。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	28	0	現在対象者なし。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	28	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	28	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	28	0	夕礼時に報告したり、検討会を行う。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	28	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	28	0		